

発行 宮城県こもれびの森 森林科学館  
〒987-2512 宮城県栗原市花山草木沢角間 10-7

TEL&FAX 0228-56-2330  
http://mifi.main.jp/komorebi.htm



## イベント報告 -ウッドランドクラブ7月-

### ～「川遊びと自然観察」～

7月のウッドランドクラブのテーマは、「川遊びと自然観察」です。学校が夏休みに入ったこともあり、親子連れが目立ちました。当日は小雨模様で、スケジュールを少し変更してのイベントとなりました。

川遊びのお目当ては何と言ってもイワナのつかみ取りです。イワナは花山漁協さんより提供を受けたピチピチものです。初めから水着姿で参加の子供たちも多く見受けられ、気合が入っていました。

捕まえたイワナは、すぐにさばいて串



＜イワナの串焼き＞

にさします。塩をパラパラとまぶして完成です。あとは2～3時間かけ、じっくりと焼きます。

焼きあがるまで、クイズやおやつタイムで子供たちは盛り上がりました。昼食時には恒例となった「ソーメン流し」です。竹のトイを流れていくソーメンに思わず歓声が上がりました。やっと雨も上がり、ようやく夏休みらしい雰囲気となりました・・・

来年の夏休みもお待ちしています。



＜ソーメン流し＞

## こもれびの森の かわいいことりたち

こもれびの森サポーターで  
専属ことりカメラマン(?)  
の大友さんのコーナーです

### “メジロの親子”

メジロが駐車場入り口の垣根に巣を作りました。

- ①今行くよ..エサのクモをくわえた親鳥。
- ②親が合図をする前に巣立った元気物のヒナ。側溝に落ちてしまいました。
- ③落ちたヒナにエサを運び親鳥。
- ④フンをくわえて巣から出てきた親鳥。

＜①＞



＜②＞



＜③＞



＜④＞



## 生き物いろいろ



～身近にいる小さな虫たち～

### 恐るべき暗殺者...シオヤアブ

先日、虫を抱えながら飛んでいるアブが目の前を横切って近くに落ちた。取っ組み合いをしているようだが、シオヤアブがハチの背中に乗って口吻(こうぶん)で背を刺していた。

シオヤアブはスズメバチ、カマキリ、オニヤンマなどと同じように昆虫界の最強の肉食昆虫である。木や枝に止まって獲物を待ち伏せて、空中で背後から忍び寄って足で捕まえる。針のような鋭く硬い口吻を刺し獲物の神経筋を切って即死させるという。

間近で見る名ハンターの奇襲技はライオンが狩りをするシーンを彷彿させた。(は)



＜オスは尾が白い＞



＜ハチ一撃する＞

## まめちしぎコーナー “花や木などのチョットした知識”

### ～名誉回復なるか!!...「ヤイトバナ」(アカネ科)～

「ヤイトバナ」と聞いて、何それ?と思う方は多いと思います。では、雑草でツルを引っ張ると変な臭いがするヤツ、と言えば...そう、「ヘクソカズラ」です。葉から茎から実まで悪臭があります。

「万葉集」では「クソカズラ」の名で登場している由緒ある?野草ですが、この名に「へ」が加わり気の毒にも史上最悪の名となってしまいました。江戸時代にはすでに「ヘクソカズラ」と呼ばれていたようです。秋に熟す果実は、「しもやけ・あかぎれ」などの生薬として古くから用いられ、臭いを除けば有用植物です。

さて、名前があまりにも下品ということで最近改名され、標準和名は「ヤイトバナ」(灸花)ということになりました。花の形が「灸(きゅう・やいと)」をすえた跡のようであり、別名としても使われていたことが理由のようです。図鑑や植物雑誌では「ヤイトバナ」の名前が使われるようになりましたが、標準和名が必ずしも一般に定着するとは限らないこともあり、ヤイトバナにとって、まだまだ苦戦の日々が続くそうです... (千葉)



＜ヤイトバナ花＞

## 科学館情報

### 光回線開通

アナログ機器が多い科学館ですが、ついに7月末に光回線が開通しました。科学館より奥には建物らしいものがないので、最も奥地の光回線と言えそうです。Wi-Fiサービスができるようになり、来館者のスマートフォンでサービスが利用できます。来館した折にはぜひご利用ください。ただし、従来の「携帯電話」はまだ電波が届かず、圏外のままなので、次の近代化は携帯電話対策となりそうです・・・